



令和元年9月20日

各位

会社名 株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド
 代表者 代表取締役会長兼社長 藤田 雅章
 (コード番号 7829: 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役副社長 菅原 隆司
 (電話 03 - 6400 - 5524)

令和2年2月期 第2四半期及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成31年4月12日付で公表しました令和2年2月期 第2四半期(累計)及び通期連結業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 令和2年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成31年3月1日～令和元年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,012	323	309	166	4.71
今回修正予想(B)	12,157	△ 289	△ 397	△ 438	△ 12.41
増減額(B-A)	△ 854	△ 612	△ 706	△ 604	
増減率(%)	△6.6	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成31年2月期第2四半期)	14,011	530	501	298	8.46

2. 令和2年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成31年3月1日～令和2年2月29日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	27,883	711	683	306	8.70
今回修正予想(B)	26,018	220	141	118	3.36
増減額(B-A)	△ 1,864	△ 490	△ 541	△ 187	
増減率(%)	△6.7	△68.9	△79.2	△61.2	
(ご参考) 前期実績 (平成31年2月期)	27,744	664	619	△ 1,337	△ 37.90

3. 修正の理由

当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましては、ECやコト消費の続伸、個人間取引市場の成長による購買チャネルの多様化の影響もあり消費構造そのものが転換期を迎えております。

当社グループはこのような環境に対応すべく今年5月に新経営体制へ移行して以来、商品企画力や良質素材調達力を強化し、生産背景の再構築及び品質管理体制の強化を推進しており、これまで以上に消費者ニーズを捉える経営に注力し、高収益体質の確立に向けた改革を進行しております。

第2四半期累計期間においては前期以前から続く事業再編による低採算店舗の整理などに伴う店舗数減少や、台風、豪雨などの不安定な気候変化が集客に一部影響する中、新経営体制において第2四半期にて財務体質の健全化及び連結子会社の事業年度等に関する事項の見直しを行いました。具体的には過剰在庫の削減を積極的に行ったことにより原価率が当初計画に対し3%ほど増加し、また一部の連結子会社において生じていた決算期ずれの補正を行い連結会計において費用の前倒し計上を行ったことにより販売費及び一般管理費が4%ほど増加し、第2四半期（累計）連結業績予想については、営業利益・経常利益・当期純利益が期初予想を下回る見通しとなりました。

通期業績予想については、新経営体制のもと急速に行っている上記改革の効果が第4四半期に向け徐々に生じ始める見込みであるものの、第2四半期における財務体質の健全化を積極的に行った影響が第3四半期にも一部継続することを見込み、上記2.のとおり修正いたします。

4. 配当予想について

当社は、株主の皆様に対して安定的に配当を継続していくことを重視していることから、期末一括配当予想は一株当たり10円のまま据え置いております。

5. 役員報酬の減額について

新経営体制のもと業績向上に向け行っている改革の成果が生ずるまで、下記の通り2名の役員報酬については減額を継続することといたします。

記

報酬減額の内容	代表取締役会長兼社長	藤田 雅章	月額報酬の50%
	取締役副社長	菅原 隆司	月額報酬の50%

(注) 本資料に記載されている業績等の予想数値につきましては、本資料の発表日現在において得られた入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上